

## ○フィブラストスプレー [外]

【重要度】 【一般製剤名】トラフェルミン (遺伝子組み換え) trafermin (genetical recombination) 【分類】褥瘡, 皮膚潰瘍治療剤 [FGF 製剤]

【単位】 ▼250  $\mu\text{g}$  ・ ○500  $\mu\text{g}$ /瓶

【常用量】 溶解後 100  $\mu\text{g}/\text{mL}$  の溶液を潰瘍面に 5 噴霧

【用法】 潰瘍面を清拭後, 1 日 1 回, 潰瘍の最大径が 6cm 以内の場合は潰瘍面から約 5cm 離して 5 噴霧■潰瘍の最大径が 6cm を超える場合は, 薬剤が同一潰瘍面に 5 噴霧されるように潰瘍面から約 5cm 離して同様の操作を繰り返す。

【透析患者への投与方法】 常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 世界初のヒト bFGF (塩基性線維芽細胞増殖因子) 製剤。血管新生作用及び線維芽細胞増殖促進作用により新生血管に富んだ良性肉芽を形成させる。噴霧後 30 秒程度創部に浸透させる。

【副作用】 刺激感・体痛、滲出液の増多、発赤、掻痒感、発疹、接触皮膚炎、腫脹、ALT・AST 上昇など

【吸収】 ほとんど吸収されない (1) 全層欠損創からの吸収は 24 時間までで抗 bFGF 抗体との反応体として 4.2% (1)

【排泄】 投与後 1 週間まで放射活性として尿中 45%、糞中 3% (1)

【蛋白結合率】 37% (1)

【MW】 17122

【透析性】 該当しない (5)

【禁忌】 投与部位に悪性腫瘍のある患者又はその既往のある患者 (悪性腫瘍細胞の増殖を促進させるおそれがある) 【備考】 投与期間は 4 週間が限度。入院患者に使用する際は各患者に処方箋・処置どちらでもコスト請求できる。いずれも患部のサイズをレセプトに記載する。1V を 1 人の患者に使う時は処方箋、複数の患者に使う場合は処置入力するのがよい。処置の際の薬剤請求点数は処置点数とは別に 5 噴霧 1 回分 0.3mL をレセプトに記入する。

【更新日】 20140728

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配言を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。